

テーマ「感染症対策を踏まえた働き方改革」

視点1 行政との連携や働きかけ

- ・働き方改革推進のための窓口の明確化及び共通認識
- ・コロナ禍を機会とした各種文書・取組・活動の見直しや縮減
- ・出張の削減やオンラインでの開催（コロナ収束後も）
- ・メール配信システムの統一化やりマインダの中止
- ・調査報告文書の削減や余裕をもった回答期限の設定
- ・市役所内の他課部局との情報共有や連携
- ・学校の働き方改革について、市全体からの保護者や地域への広報
- ・GIGAスクール構想を推進するためのICT環境及びICT支援員の充実
- ・産休・育休・研修等の補充職員や施設設備管理人等の人材確保
- ・積極的な部活動指導員の導入などの部活動改革
- ・教員特殊業務手当の支給される休日の部活動を時間外勤務への計算除外

視点2 自校での取組

・部活動改革

部活動を支援するための地域学校協働組織を発足させて連携し、教員の平日の指導を3日間にした。部活動指導員や外部コーチを活用している。平日の活動時間は2時間程度なので、部活動の時間を遅くても18時までに行っている。夏はフレックスタイム制を取り入れている。

・ICTの活用

学園での教頭、教務主任、研究主任等の会議をZoomを活用して実施した。Teamsを活用して情報を共有し、研修を実施したり会議を削減したりした。Formsを活用して、教職員や生徒に意識調査を行い、結果をすぐにまとめられるようになった。授業参観に保護者が来校するのではなく、動画で授業を公開しての参観とした。学校に登校できない生徒に対して、教室に定点カメラを設置して映像を流し、生徒との関係を築いている。

・学校支援ボランティアの活用

保護者等から学校支援ボランティアを募り、校内の消毒作業、除草作業等をしてもらった。

・行事の見直し

動画撮影が容易にできるようになり、オンラインによる行事運営が増えたため、場所を移動することも減り、時間が削減された。

視点3 次年度に取り組みたいテーマ

- ・部活動改革について
- ・教職員の意識改革について